

大使館情報

2019年3月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（2月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（2月の出来事）

[内政]

- (1) 連邦議会・法制関連
- (2) 汚職関連
- (3) 大統領動静

[外交]

- (1) 閣僚の外遊
- (2) 対ベネズエラ関係
- (3) ベニテス・パラグアイ大統領の訪伯

3. トピックス

- (1) 山田大使とエドゥアルド・ボルソナーロ下院議員との意見交換
- (2) 2019年新規国費留学生壮行レセプションの開催
- (3) 平成30年度秋の叙勲伝達式及び祝賀会レセプション（在レシフェ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（2月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、2月22日時点で、GDP成長率予測については、2019年は2.48%で先週と変わらず、2020年は2.65%で先週2.58%から0.07%増加。インフレ率については、2019年は3.85%で先週3.87%から減少、2020年は4.00%で先週と変わらず。

(イ) 12月の鉱工業生産指数は、前月比+0.2%、前年同月比は▲3.6%で2ヶ月連続のマイナスを記録。

(ウ) 12月の小売売上高は、前年同月比+0.6%で先月の+4.4%から減少したほか、前月比▲2.2%と減少に転じた。

(エ) 全国の失業率（11～1月の移動平均）は12.0%となり、前回の公表値（10～12月の移動平均）より悪化した。

(オ) 1月の貿易収支は、輸出額は186.13億ドル（前年同月比+9.32%、前月比▲4.82%）、輸入額は163.87億ドル（前年同月比+15.38%、前月比+26.87%）で、差引き22.25億ドル（前年同月比▲21.20%、前月比▲66.48%）となり、47か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 1月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で+0.32%となり、前月の+0.15%から上昇した。12ヶ月の累計では3.78%となり、政府のインフレ目標（4.5%±1.5%）内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) ボルソナロ大統領は、2月20日にマイア下院議長へ年金制度改革に関する憲法改正案（PEC）を提出。マイア議長は同案を審議するため、2月26日に憲法司法委員会を設置するとしたが、同日には設置されず、同委員会の設置及び下院における改革案に係る審議の開始はカーニバル明けの3月中旬以降となった。

(イ) 上院は2月26日に次期中銀総裁候補のカンポス・ネット氏の質疑応答会を行い、同氏の次期総裁への就任を承認。ネット次期中銀総裁は、サンタンデール銀行で18年間勤務した経験を保有しており、ゴールドファイン現総裁と、カーニバル後に交替するものと見られている。

(ウ) ボルソナロ大統領は国内12空港の民営化を進めると発表。地域毎に3つのブロックにわけ、地域毎に入札する予定。入札日は3月12日の予定。

(エ) MDA社が今月21日から23日にかけて2,002人を対象に実施した世論調査によると、ボルソナロ大統領の支持率は57.5%で、不支持率は28.2%。

(3) 中銀の金融政策等

ボルソナロ政権下で初となる金融政策委員会は2月5日及び6日に開催され、政策金利（Selic）を年6.50%に据え置くことを決定。据え置きは7会合連続。

(4) 為替市場

(ア) 2月の為替レートは、1ドル=3.65～3.76レアルのレンジで推移。

(イ) 月の前半は、年金制度改革の行方、ヴァーレ社のダム決壊事故、大統領の健康状態等の国内要因、米中首脳会議や米政府機関の再閉鎖に係る懸念等の海外要因で、1ドル=3.65～3.76レアルのレンジで推移。

(ウ) 月の後半は、20日に年金制度改革案が提出されたことを好感し、一瞬リアル高に振れるも議会で審議の行方や実質的な議論が3月中旬以降になることから、すぐに値を戻した。

(5) 株式市場

(ア) 2月のブラジルの株式相場 (Ibovespa指数) は、年金制度改革の行方等の影響を受け、94,000～98,000ポイントの高い水準で推移。

(イ) 月の前半は、4日に過去最高の水準である98,589ポイントを記録するも、年金制度改革案への議員等による否定的なコメントの影響を受けて、94,000ポイントまで急落。その後、98,000ポイント台まで値を戻す。

(ウ) 月の後半は、96,000～97,000ポイントの高い水準で推移。20日に年金制度改革案が提出されたことを好感し、一瞬株高に触れるも、すぐに値を戻した。

2. ブラジル政治情勢 (2月の出来事)

【内政】

(1) 連邦議会・法制関連

(ア) 2月1～2日、連邦上下両院で議長選挙が行われ、ロドリゴ・マイア下院議長が再選、ダヴィ・アルコロンブレ上院議員が上院議長に当選した。

(イ) 2月12日、テロ対策法案が下院通過。

(ウ) 2月19日、連邦政府、犯罪対策法案を下院に提出。

(エ) 2月20日、連邦政府、年金制度改革案 (憲法修正案) を下院に提出。

(オ) 2月26日、連邦上院、ロベルト・カンポス・ネト氏の次期中銀総裁就任を承認。

(2) 汚職関連

(ア) 2月4日、連邦最高裁判所 (STF) は、テメル前大統領が裁判管轄権に関する特権を喪失したことに伴い、同前大統領の不正疑惑に関する刑事訴訟3件 (収賄、犯罪組織結社罪等) 及び捜査1件をブラジリア及びサンパウロ連邦裁判所に移管した。

(イ) 2月6日、クリチバ連邦裁判所第13法廷は、ルーラ元大統領に対し、収賄及び資金洗浄の罪 (注: サンパウロ郊外の別荘改築費用として、OAS社やオーデブレヒト社等から約100万リアル相当を受領) で禁固12年11か月の有罪判決を言い渡した。

(3) 大統領動静

(ア) ボルソナーロ大統領は、計17日間の入院を経て、2月13日にサンパウロ市内のアルバート・アインシュタイン病院を退院。同月27日、術後検査のため同病院を訪問した。

(イ) 2月28日、ボルソナーロ大統領は、大統領府にて当国メディア関係者との朝食会を開催。

【外交】

(1) 閣僚の外遊

(ア) 2月5～7日、アラウージョ外務大臣がワシントンを訪れ、ポンペオ米国務長官とベネズエラ情勢及び3月に予定されているボルソナーロ大統領の訪米について協議。また、ボルトン

大統領補佐官、ロス商務長官、ライトハイザーUSTR代表とも会談した。

(イ) 2月14日、アラウージョ外務大臣がワルシャワ中東会議に出席し、マージンでネタニヤフ・イスラエル首相と会談。

(ウ) 2月25日、ダマーレス・アルヴェス女性・家族・人権大臣がジュネーブで開催された国連第40会期人権理事会開会セッションに出席し、ボルソナーロ政権が女性や少数民族、LGBT、児童等の人権擁護を重要課題に掲げていることを強調した。ベネズエラ情勢に関しては、「独裁者マドゥーロによって自国民への暴力が続いている」と批判しつつ、ブラジルは平和的解決を望むと述べ、軍事介入の選択肢を否定した。

(2) 対ベネズエラ関係

(ア) 2月11日、アラウージョ外務大臣がグアイド・ベネズエラ暫定大統領の駐伯外交代表であるマリア・ベランドリア氏と会談し、ベネズエラ国民向けの人道支援について協議した。

(イ) 2月23日、ブラジル政府は、米国及びコロンビアと連携し、ベネズエラに対する支援物資の搬入を試みるも失敗。

(ウ) 2月25日、モウラオン副大統領及びアラウージョ外相がボゴタで開かれた第11回リマ・グループ会合に出席し、軍事介入の可能性を改めて否定。

(エ) 2月28日、ボルソナーロ大統領がブラジリアを訪問中のグアイド・ベネズエラ暫定大統領と会談を行い、記者会見において、ベネズエラに民主主義を再生させるための努力を惜しまない旨発言。

(3) ベニテス・パラグアイ大統領の訪伯

2月26日、ベニテス・パラグアイ大統領がフォス・ド・イグアス市で開催されたイタイプー発電公社伯側新理事長就任式に出席。ボルソナーロ大統領も右就任式に出席し、両国を結ぶ2基の国際橋を建設する方針について改めてベニテス大統領と確認した。

3. トピックス

(1) 山田大使とエドゥアルド・ボルソナーロ下院議員との意見交換

2月6日、山田大使は、エドゥアルド・ボルソナーロ下院議員(PSL:自由社会党)を議員事務所へ往訪し、日ブラジル関係等につき意見交換を行った。

山田大使からは、昨年の下院選挙での歴代最多得票での再選に祝意を述べつつ、良好な二国間関係を更に強化していきたいと述べた。エドゥアルド・ボルソナーロ下院議員からは、昨年2月に父ボルソナーロ大統領(当時は下院議員)の訪日に同行したことにも触れつつ、1月23日の日ブラジル首脳会談(於:ダボス)にも同席したが、非常に良い内容であった等と述べるところがあった。

その他、両国が協力可能な分野、6月のG20サミットの機会のボルソナーロ大統領の訪日、翌週から本格化する議会審議の見通し等について意見交換を行った。



右から山田大使、エドゥアルド議員、若枝書記官

(2) 2019 年新規国費留学生壮行レセプションの開催

2月13日、在ブラジル日本国大使館主催で「2019 年新規国費留学生壮行レセプション」が開催され、47名が参加した。

本年4月から日本に留学する新規国費留学生5名（研究留学生4名、学部留学生1名）を激励するとともに、ブラジル元国費留学生の同窓会（ABRAEX）幹部及びブラジル日本関係機関関係者とも意見交換が行われ、ネットワークが強化された。

壮行レセプションでは、山田大使から激励の言葉が送られたほか、ルシアーノ・ABRAEX 事務局長による挨拶が行われた。

壮行レセプションにおける[山田大使の挨拶はこちら](#)を参照。



挨拶する山田大使



山田大使と新規国費留学生



懇談の様子



集合写真

(3) 平成30年度秋の叙勲伝達式及び祝賀会レセプション（在レシフェ総領事館）

2月5日（火）、丸橋在レシフェ総領事はオギバウダ・デバイ・デ・ソウザ・トーレス氏及びタダオ・ナガイ氏に対する平成30年度秋の叙勲伝達式及び祝賀会レセプションを総領事公邸において行った。

トーレス氏は、バイア州伯日文化協会会長として日本・ブラジル間の文化交流促進の他、特に日本の「鈴木メソッド」を導入し、音楽を通じた両国の相互理解促進への貢献、また、ナガイ氏は、レシフェ日本文化協会会長として日本・ブラジル間の友好親善促進の他、特に柔道を通じた両国の相互理解促進への貢献が各々称えられ、旭日双光章を受章した。

同伝達式及びレセプションには、両氏の家族や友人等約30名が出席し、受章の喜びを分かち合った。



オギバウダ・デバイ・デ・ソウザ・トーレス氏



オギバウダ・デバイ・デ・ソウザ・トーレス氏と親族・ご友人



タダオ・ナガイ氏夫妻



タダオ・ナガイ氏夫妻と親族・ご友人



オデシウ・コスタ・オリベイラ在サルバドール日本名誉総領事による乾杯

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) イラスト展覧会 (サンパウロ市)

日時：2月12日(土)～3月30日(土)

火曜日～金曜日 10:30～19:30

土曜日 9:00～17:00

場所：国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館 - Avenida Paulista, 52 - 3º andar, São Paulo - SP

内容：昨年7月に「日本の郷土料理」をテーマにイラストコンクールが開催された。本展覧会では、ブラジルの小・中学生から寄せられた787作品のうち優秀賞と努力賞を受賞したものを展示する。また「郷土料理」と「絵」に関連するイベントを開催する。

URL: <https://fjisp.org.br/agenda/exposicao-desenhos2019-biblioteca/>

(イ) パラナ帰国留学生会 (APAEX) による桜植樹式典 (パラナ州)

日時：3月11日(月) 15:00～

場所：日本移民100周年記念公園 (パラナ州クリチバ市: Parque Centenário da Imigração Japonesa - Avenida Comendador Franco, s/n - Uberaba, Curitiba - PR, 81560-001)

(ウ) 平成30年度草の根文化無償資金協力「南日伯援護協会多目的施設増改築計画」署名式 (パラナ州)

日時：3月14日(木) 17:00～

場所：南日伯援護協会(リオグランデドスル州ポルトアレグレ市: Rua Gomes Jardim, 497, Santana, Porto Alegre, RS)

(エ) 「少女マンガパワー！」巡回展示会 (リオデジャネイロ市)

日時：3月14日(木)～4月11日(木)

場所：リオデジャネイロ州立大学文化センター - Rua São Francisco Xavier, 524, Maracanã, Rio de Janeiro - RJ

内容：日本の漫画の多様性とその価値を紹介する展示会。第二次大戦後から現代にいたるまで、少女漫画の発展に貢献のあった漫画家12人の作品を展示する。

URL: <http://www.coart.uerj.br>

(オ) 紙芝居講演 紙芝居師 Flavia Wolffowitz 氏 (サンパウロ市)

日時：3月16日 10:30-12:30

場所：ジャパンハウス セミナールーム B,C - Avenida Paulista, 52, São Paulo - SP

内容：紙芝居専門家である Flavia Wolffowitz 氏を招へいし、紙芝居についての講演会 (ポルトガル語)。

(カ) 紙芝居公演 紙芝居師 Flavia Wolffowitz 氏 (サンパウロ市)

日時：(1) 3月16日 15:00-16:00

(2) 3月17日 14:00-14:30 15:00 - 15:30

場所：(1) 国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館 - Avenida Paulista, 52 - 3º andar, São Paulo - SP

(2) ジャパンハウス セミナールーム A - Avenida Paulista, 52, São Paulo - SP

内容：国際交流基金サンパウロ日本文化センターが主催する日本昔話の紙芝居公演（ポルトガル語）。

URL: <https://fjisp.org.br/agenda/exposicao-desenhos2019-biblioteca/>

(キ) 「クリチバ学生連盟本部における和食講習会（ワークショップ）」（パラナ州）

日時：3月17日（日）11:00～

場所：クリチバ学生連盟（UGC）本部（パラナ州クリチバ市：União dos Gakusseis de Curitiba - UGC - Rua Marechal Deodoro, 1418 - Centro, Curitiba - PR, 82590-300）

(ク) 講演会「日伯大衆音楽 — 21世紀の新しい文化アイデンティティ」（サンパウロ市）

日時：3月20日（水）19:00—20:30

場所：ジャパンハウス セミナールーム - Avenida Paulista, 52, São Paulo - SP

内容：カンピーナス大学の社会学博士号を取得し、ミュージシャンとしても活動する Vitoru Kinjo 氏を招き、ブラジル音楽における日系人のプレゼンス、日伯文化の融合の重要性をテーマとした講演会を開催する。

URL: www.fjisp.org.br

(ケ) ピアウイ日本週間（テレジーナ）

日時：3月21日（木）～23日（土）

場所：テレジーナ市立オジロン・ヌネス職業訓練校

内容：折紙、浴衣着付け、漫画、コスプレ、そろばん、日本民謡民舞、太鼓、日本料理の各ワークショップの他、日本映画上映会（「秒速5センチメートル」「書道ガールズ」「言の葉の庭」）も合わせて開催。21日のオープニングでは、太鼓、日本民謡民舞、コスプレ及び剣道のデモンストレーションも開催される。

(コ) 国費留学説明会（テレジーナ）

日時：3月21日（木）～22日（金）

場所：ピアウイ連邦大学、UNINOVAFAP 大学、カミロ・フィリョ大学

内容：ピアウイ日本週間開催に合わせて、地元在住の帰国留学生4名（4月訪日留学生も参加予定）による、日本留学の体験談を交えた説明会を各大学講堂において実施する他、会場において日本舞踊及び和太鼓のデモンストレーションも開催。

(サ) 国費留学説明会（マカパ）

日時：3月21日（木）

場所：アマパ連邦大学及びアマパ州立大学

内容：当館留学選考委員及び帰国留学生による同説明会及び日本留学体験談の紹介を各大学講堂において実施。

(シ) 日本語ビデオコンテスト (ウェブサイト上)

日時：2019年3月22日までの募集。

場所：ウェブサイト上

参加申し込み方法：https://fjisp.org.br/concurso_video_fundacao_japao2019/

内容：日本語学習者向け奨励イベントとして、日本語を使ったビデオコンテストを開催する。誰でも参加できるビデオコンテストであり、ビデオの制作テーマは参加者の方が住む町の「郷土自慢」となる。3月28日に入賞者が発表され、4月26日に最終結果が発表される。

(ス) 国費留学説明会及び日本事情・日本文化に関する講演会 (パラナ州)

日時：3月27日(水) 19:00～

場所：ロンドリーナ文化体育協会 (パラナ州ロンドリーナ市:ACEL- Estr. Maj. Archiles Pimpão, 2300 - Jardim Vale Verde, Londrina - PR, 86040-020)

(セ) 国費留学説明会 (サンルイス)

日時：3月25日(月) 及び27日(水)

場所：マラニョン連邦大学及びエスタシオ大学

内容：地元在住の帰国留学生3名(うち1名は連邦大学研究担当副学長)の日本留学体験談を交えた同説明会を各大学講堂において実施。

(ソ) 講演会「マンガTurma da Mônicaの制作プロセス」(サンパウロ市)

日時：3月27日(水) 19:00-20:30

場所：ジャパンハウス セミナールーム - Avenida Paulista, 52, São Paulo - SP

内容：図書館事業の一環として、マンガTurma da Mônicaの脚本家であるFlavio Teixeira氏を招き、脚本制作プロセスについての講演会を行う。

URL：<https://fjisp.org.br/agenda/exposicao-desenhos2019-biblioteca/>

(タ) ラウンドテーブル 「日本現代文学 — 翻訳の挑戦、市場の展望、潮流」(サンパウロ市)

日時：3月28日(木) 19:30-21:00

場所：サンパウロ文化センター - Rua Vergueiro, 1000, São Paulo - SP

内容：サンパウロ文化センターとの共催で、ブラジルの日本文学専門家、翻訳家、出版社の代表者を招へいし、日本の現代文学についてラウンドテーブルを開催する。

URL：www.fjisp.org.br

(チ) 『日系人のブラジル社会における再統合、日系コミュニティの構築及び日本語学習の継続』セミナー (パラナ州)

日時：3月20日（金）19:00～

場所：シヨウルームA. Y o s h i i （パラナ州ロンドリーナ市, Av. Madre Leonia Milito, 1800-Londrina, Paraná）

（２）外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

（３）ブラジル渡航情報

（ア）危険情報

2019年2月12日付で内容を改訂したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

（イ）安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

（ウ）テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html